



SESERAGI—MISHIMA  
ROTARY CLUB  
WEEKLY REPORT

クラブ  
週報

2023～2024年度 RI会長 ゴードンR.マッキナリー  
RIテーマ 世界に希望を生み出そう

クラブテーマ「芽生えた双葉を育て、希望の花を咲かせよう！」

会長 岡良森 幹事 篠木喜世

第1537回例会  
2023.8.4(金)晴

司会：鈴木俊也君

ロータリーソング「奉仕の理想」指揮：高村勝則君

事務所 三島市泉町9-8 1F南  
TEL.055-976-6351 FAX.055-976-6352

<http://www.seseragi-mishima-rc.jp>

せせらぎ三島ロータリークラブ

検索

例会場 呉竹

TEL.055-975-3210

毎週金曜日 第1・第3 夜間例会

## 会長挨拶

会長 岡良森君



暑い日が続きますね。今年は例年にない暑さとのことです。ご自愛ください。先週28日から6日間、アメリカ西海岸パサディナから高校生9名を一週間受け入れ、富士山登山や三島”しゃぎり”実演など、全力でお世話してきました。“案ずるより生むが易し”、三島の学生とすぐ打ち解けることができ、充実した一週間でした。また、例年のことですが、この時期のロータリー行事に多くの当クラブメンバーが参加していただきありがとうございました。会員増強セミナー、米山奨学セミナー、財団セミナーなど、担当メンバーに感謝申し上げます。

本日の会長挨拶は私自身の職業に関する話をしてみたいと思います。ご存知の通り、私の職業は解体工事業です。木造住宅からコンクリート造建物や鉄骨造構造物の解体などを手掛けております。元々、親父の一族の職業ということもあり、30歳でサラリーマンをしていた東京から静岡に来ました。38歳で独立し、今日に至っております。SDG'Sが叫ばれている中、人口に比して住宅面積の少ない日本においてはなお有効な職業ではないかと考えております。そんな中ではありますが、先日、某大学の教授から連絡を頂きました。内容は災害現場で被災者の探索等を行う道具として“超小型ロボット”の開発を進めているとのこと、開発にあたっての実験の場を提供してくれないかということでした。

実は私自身30代の頃、同じような発想から重機に2つのアームを付けた機材があればいいなど考えたところ、九州の消防関係のところで開催されたことを知ったということがありました。時代が移り、今はいろいろな型のロボットの開発が行われているようです。そのことから、今後、木造解体の現場を実験の場として提供することが、一助となればと思っております。ロータリーで培った奉仕の精神を職業奉仕という形で実践できることの充実感を感じております。

本日紹介する乗り鉄ネタは、海外ネタです。海外の鉄道への乗車経験は多くありません。25年程前にロンドンからパリまでユーロスターに乗ったり、タイでローカル列車に乗ったりはしました。今日のネタは、アメリカの鉄道のおはなしです。アメリカ国内の輸送手段はというと当たり前ですが飛行機が思い当たりますよね。大陸横断鉄道と聞いても実際に旅行する際の選択肢にはならないですよ。しかし、今でもしっかりといろいろな形で長距離型や地域型として運行されております。かつての日本の国鉄ともいえる存在の鉄道会社“AMTRAK”アムトラックを紹介します。地方では、気動車で客車を引っ張る形が多くみられます。客車には展望型の車両や、今や極わずかになりましたけど、プライベートカーなどもあります。日本の新幹線には及びませんが、最高速度240キロのアセロラエクスプレスというものも存在します。

チケットは、所謂一般席を“Coach”といいます。日本のシートより広く快適です。その上のクラスは“Business”です。コーチより少し豪華です。その上のクラスは“Roomette”個室です。昔、日本でも新幹線にありましたね。タイプによっては、シャワートイレ付もありますが、2名乗車では少し狭く感じます。食事はチケット代に含まれていることが多いようです。そしてその上が“Bedroom”ベッドルームとなります。広い個室です。列車により最大4名まで入れますので家族での移動に快適ですね。興味を頂いた方は、我々の仲間の平和ツーリスト吉村さんに相談してみてもいいかがでしょうか。

ようこそせせらぎ三島  
ロータリークラブへ

渡邊仁也さん(大川君のゲスト)  
野田和秀君(三島西RC)

## 出席報告

	出席総数	出席率	メイクアップ	修正出席率
前々回	28/34	82.40%	29/34	85.30%
今回	28/34	82.40%	会員総数	37名

## 欠席者

あなたが見えなくて残念でした。

伊丹君、加藤(貴)君、杉橋君、原君、山口(雅)君、吉村君  
(\*出席免除会員の欠席者 遠藤君 片野君 中村君)

## 卓話

記念館について

矢岸貞夫君



記念館の名称は「公益財団法人 米山梅吉記念館」と言います。

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会と混同されますが全くの別組織です。記念館建設の経緯を簡単に説明しますと、米山梅吉の遺徳を偲びその偉業を顕彰する目的で地域のロータリアンが中心となり、資金を集め財団法人を設立し1998年に記念館を建設しました。

次に運営と資金について説明します。運営も資金調達も全てロータリアンの寄付と奉仕活動によって賄われています。運営については、全国から評議員、理事長、理事が選任されます。直接の運営は、地区の第一グループ4クラブ、第2グループ5クラブの9クラブ9名が理事長の委嘱をうけて行っております。

資金について説明します。年間の運営資金は約1800万円～2000万円が必要です、全てロータリアンの寄付金に依っています。クラブ単位では、東京クラブ、2620地区各クラブ、神奈川2780、2590の2地区各クラブです。個人単位では、一人100円全国募金、年会費3000円賛助会員、来館者のスマイルボックスなどに依存しています。賛助会員の方々には記念館の館報を春秋の例祭に前後して2回届けています。

また、米山記念奨学会から200万円の寄付をいただいています。これらの寄付や奉仕活動は日本のロータリー創設者米山梅吉氏の遺徳に対する崇敬の念が根本をなしています。今後も皆様のご理解とご支援をお願いいたします。2階の展示場では記念館の市川学芸員の説明により米山梅吉の生い立ち、交友、人間形成、奉仕者としての生涯について興味深い話しを聞くことが出来るものと思います。



## おめでとう

会員誕生日	7月17日	土屋和彦君
	8月6日	中山和雄君
	8月9日	鈴木俊也君
入会記念日	8月9日	中山和雄君
	8月23日	仲原実圭君



## スマイルボックス

山口辰哉君：大谷の去就。大胆予想は外れました。2019年に続いて2度目の大谷観戦を、と思いましたがマイレージの席が空席待ちばかり。自腹で行くお金もないので、今年は無理そうです。残念！今日の試合も残念！

山田定男君：軽自動車、各メーカー300万になりました。国策でしょう。ただし補助金120万円だそうです。何か納得しません。

加藤正幸君：明日8/5、長泉わくわく祭りパッケージプラザカウ出店します。是非遊びに来て下さい。暑いですが頑張ります。追伸 サインズアース様も出ます！

土屋巧君：ごぶさたしておりました。1年半税理士業界のトップを決める選挙で全国走り回って来ました。その結果が先週出まして、東海税理士会の会長が全国の会長に選出されました。宜しくお願いします。

野村諒子君：皆さん、「古着deワクチン」ご協力ありがとうございます。すでに11袋送らせていただきました。まだ古着の集めたものをお持ちの方はジモットまでお持ちください。8日(火曜)、9日(水曜)13時～16時開いています。よろしくお祈りします。

杉山寿美子君：本日、お通夜がある為、準備のみで早退させていただきます。申し訳ありません。